

わが街 Watching



▲テープカットで防犯カメラの運用開始を祝う関係者

安全な通学などへの力強い味方

J R田川伊田駅に防犯カメラを設置

2月12日、J R田川伊田駅で、関係者など約30人が参加し、駅舎内にあるトイレ付近に設置された防犯カメラの運用開始式が行われました。

この防犯カメラは、大学や高校に通う女子学生などが多く利用している同駅の安全を守り、犯罪の未然防止や万が一犯罪が発生した場合の犯人特定に役立てようと、昨年12月に田川ライオンズクラブ（梶原義勝会長）により設置され、この日、運用が開始されました。

梶原会長は「地域や学生のみなさんの役に立てばと思いかメラを設置した。今後も奉仕の精神でみなさんの安全、安心を守るため尽力していきたい」と話しました。

立派な社会人になってください

日本公衆電話会が「こども手帳」を寄贈

2月18日、公益財団法人日本公衆電話会九州統括支部（赤木幹弘支部長）の関係者らが市民会館を訪れ、市内の全小学校児童と教職員を対象に「こども手帳〜ぼくも、わたしも社会の一員〜」を3,180冊寄贈しました。

この「こども手帳」は、同会の社会貢献活動の一環として小学校児童に向け作成されたもの。自分の体や命を自分で守る方法や大人になるための大切な心がけなど、子どもたちの将来に役立つ情報がたくさん掲載されています。

同統括支部の重村嘉男福岡支部担当部長は「社会のルールやマナーを学んで、立派な社会人になってほしいとの思いがこめられています。有効活用してください」と話しました。



▲重村さん(左)から尾垣有三教育長に「こども手帳」が手渡されました

子どもの感性、のびのび育て

福岡県小学校児童画作品展学校賞を受賞

「第61回福岡県小学校児童画作品展」で多くの特選、入選者が出たことが評価され、大浦小学校が学校賞（RKB毎日放送賞）を受賞しました。

今回の作品展には、福岡県内の全小学校から約27万点が応募され、大浦小からは、松浦里菜さん（5年）、福山みよさん（1年）、辰巳雅徒くん（1年）の作品が特選に選ばれました。またその他13人が入選、8人が佳作、32人が奨励賞に選ばれ、中でも5年生は28人全員が入賞しました。

授業で行った稲刈りの様子を描いたという松浦さんは「5年生みんなで賞をとろうと頑張って描きました。全員入賞できて、とてもうれしいです」と笑顔で話しました。



▲特選の賞状を手にして、はじける笑顔の子どもたち

届けたい。わたしたちの熱い思い

「少年の主張」田川地区大会

2月2日、「少年の主張」田川地区大会（福岡県青少年育成県民会議田川地区協議会主催）が添田町オークホールで開催されました。

田川市からは、11月に開催された市の大会で優秀賞を受賞した野島三央さん（金川中学校1年）と水上菜緒さん（中央中学校2年）が出場し、田川市郡から選ばれた計9人（田川市のみ2人）が、日常生活で感じたことなどを発表しました。

野島さんは「目を向けようゴミ問題」と題し、ゴミのない美しいまちの実現に向けて、「小学校から中学校までの9年間は毎年ゴミについて勉強していき、小さい頃からゴミ問題を意識し、身近な問題として行動するよ

うになれば、将来の田川の姿は変わっていく、きっと変えていけると信じて取り組んでいきたい」と今後の抱負を語りました。

また、水上さんは「自分の成長と自立」と題して、職場体験学習で学んだことについて発表。接客をした際、お客さんからかけられた「ありがとう」という言葉に自分の気持ちが高まったことに触れ「一生懸命頑張れば相手に気持ちが通じ、その結果は自分自身に返ってくる。前向きな気持ちで挑戦することで成長し、自立することができる」と訴えました。

審査の結果、水上さんと添田町の萬徳雄太くん（添田小学校6年）が、8月に柳川市で開かれる「少年の主張福岡県大会」に田川地区代表として推薦されました。



▲「ゴミ問題は自分たちの世代に与えられた課題」と話す野島さん



▲「すべての人はつながっていることがわかった」と話す水上さん

シリーズ 田川市立病院だより

診療科の紹介ー皮膚科

田川市立病院皮膚科は、現在常勤医師1人で診療を行っています。

皮膚疾患の診断、治療にはさまざまなものがあります。アトピー性皮膚炎では、最近ではステロイド外用薬だけでなく、免疫抑制外用剤などを組み合わせた治療を行っています。また、原因や治療の指標となる採血検査項目も増えました。

かぶれや難治な湿疹などの原因と

なる化粧品、金属、薬剤などのアレルギー検査であるパッチテストも行っていきます。

さらに、当院では、紫外線療法のひとつであるナローバンドUVBが照射できる機器を新たに導入し、尋常性乾癬、掌蹠膿疱症といった難治性の皮膚疾患に対する治療の選択肢も増え、帯状疱疹の神経痛に対しては、赤外線療法も行っています。

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院 検索
クリック

地域の医療機関とも連携し、より良い医療を提供できるように努力してまいります。

皮膚科医長
わけやま 英子



●問い合わせ 田川市立病院 (☎44-2100)